

水土里ネット ながの情報

2024
NO. 21
春号

長野県土地改良事業団体連合会
土地改良のしるべ



CONTENTS

- 農地整備課長就任あいさつ
- 第66回通常総会
- 参議院議員新年度あいさつ
- 表彰 全国土地改良事業団体連合会
長野県土地改良事業団体連合会
- 長野県からのお知らせ
- 人事異動
- 新任のあいさつ
- 新規採用職員の紹介



就任のごあいさつ

長野県農政部農地整備課長

柳澤 和道

この4月の人事異動により農地整備課長を務めさせていただくことになりました。

会員の皆様には、本県の農業・農村振興のため、格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年の農業・農村を取り巻く情勢は、人口減少と少子高齢化の進行、自然災害の頻発化・激甚化、デジタル化の進展、田園回帰に対する意識の高まりなど、大きく変遷しています。

このような情勢を踏まえ、本県では、食と農業・農村の将来のあるべき姿を明確にし、それを実現するための施策を総合的かつ戦略的に推進するため、令和5年度から令和9年度を計画期間とする「第4期長野県食と農業農村振興計画」を策定いたしました。

また、この計画を実現させるための実行計画として「長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）」を策定し、「信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村」を基本目標に、様々な施策を実施しております。

本年度は、計画2年目の年であり、スマート農業技術の導入や担い手への農地集積・集約化が可能となる農地の整備、野菜や果樹などの生産性を高める畑地かんがい施設の整備、農業水利施設の長寿命化などの基盤整備のほか、防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策、千曲川沿いの排水機場の更新整備、水門の自動化・遠隔化などの防災・減災対策を重点的に進めてまいります。

更に、農地や農業用水路などの地域資源や棚田などの農業資産、美しい農村景観を次代に引き継ぐため、農家のみならず地域住民や都市住民も含めた地域活動や棚田の保全活動を引き続き支援してまいります。

土地改良区に対する支援としましては、長野県土地改良事業団体連合会と連携し、土地改良区運営基盤強化協議会の活動を通じて、組織運営の体制強化に向けた取組を進めてまいります。

今後とも、本県の農業・農村の発展のため、全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

令和6年度の事業計画などを議決 ——— 第66回通常総会

本会の第66回通常総会が、3月27日、長野市のシャトレゼホテル長野で開催された。

開会にあたり藤原忠彦会長があいさつし、来賓の阿部知事、長野県議会の山岸議長、関東農政局農村振興部の平山地方参事官が祝辞を述べ、都道府県水土里ネット会長会議顧問の進藤参議院議員及び宮崎議員よりビデオメッセージをいただいた。続いて第63回事業功労者表彰式が行われ、一般功労者22名、本会永年勤続職員2名を表彰した。

総会では令和6年度予算と事業計画などを原案どおり承認した他、役員の補欠選任では、理事2名の選任が満場一致で承認された。

また、議事終了後、決議書により7項目を決議した。



総会の様子



祝辞を述べる阿部知事

◎役員補欠選任

中島理事、名取理事が新たに就任

第66回通常総会で退任に伴う役員2名の補欠選任が行われ、本会の定款に基づき各支部から選ばれた選衡委員が協議し、南相木村長の中島則保氏、富士見町長の名取重治氏を総会に諮り、満場一致で承認された。任期は、令和6年3月27日から、現任役員の任期である令和9年3月31日をもって満了とする。



中島理事



名取理事



令和6年度を迎えて

財務大臣政務官

参議院議員 **進藤 金日子**

長野県土地改良事業団体連合会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本年は、元日に能登半島地震が発生しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。被災現場には、建設業や行政関係の皆様はじめ多くの方々が無事に救助や復旧に当たられました。貴県土連の皆様も現地入りし、被害調査等に従事されたと聞いております。皆様のご支援に深甚なる敬意を表します。

私は、本年度こそが我が国の転換を図る年であると確信しています。

昨年末、財務大臣政務官を拝命し、財政を預かる部署に直接関わることとなりました。今年こそデフレから完全脱却し、物価を上回る所得の確保を常態化して経済の好循環を図り、我が国の国力を回復して強い日本を復権する転機の日としなければなりません。

また、農政の憲法といわれる食料・農業・農村基本法の改正が予定されています。基本法制定以来の25年間、国内農業の生産体制の弱体化に歯止めがかかりません。基本法を「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」等の観点から大きく見直し、これを機に現状から脱却するため、スマート農業の活用と生産性の向上、農産物の輸出拡大等を進め、国内農業の生産体制強化に向けて転換していかねばなりません。この反転攻勢に土地改良の果たす役割を再確認して、その推進を加速化していく必要があります。

さらに、本年4月から働き方改革関連法が完全施行されます。建設現場では週休2日の実施等により、人員不足、工期の長期化等を懸念する声も聞かれますが、これを建設プロセスの効率化、新技術や新工法の導入等による建設現場の生産性向上に向けた転機と捉え、建設業を魅力あるものとして若手労働者が参入する業界へと転換していかねばなりません。

後々、「令和6年度が我が国経済が長期低迷から脱却し、農業や建設業も転換した年であった」と評価されるよう私も努力してまいります。今年は波乱の幕開けとなりましたが、皆様と手を取り合って困難を乗り越え、大晦日には一人でも多くの笑顔が増えるように頑張ってみましょう。

皆様からのご指導とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

新しい土地改良が担う新しい農業農村

参議院議員 宮崎 雅夫
(全国水土里ネット会長会議顧問)



長野県土地改良事業団体連合会の皆様には、日頃より、食料・農業・農村を支える土地改良の推進にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私宮崎雅夫の国政活動にご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。

また、本年1月1日発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。さらに、長野土連ならびに関係機関の皆様には、被災地における応急対策や被災状況調査等へのご協力をいただいておりますことに、敬意を表し感謝を申し上げます。私も、可及的速やかな営農再開に向けて、皆様のお力もお借りしながら、最大限の努力を傾注してまいります。

さて、令和6年度予算については、3月29日に成立し、土地改良関係では、補正予算と合わせて前年並み以上の額を確定することができました。さらに、今国会では、制定以来25年ぶりとなる「食料・農業・農村基本法改正法案」が審議されており、これからの農政は、現在の農業農村が置かれた環境や取り巻く情勢に即した新たなステージに入っていくこととなります。

この中で土地改良は、これまでの「整備」に加え、「保全」を新たな柱に据えて進めていくこととしており、住民の高齢化や人口減少に伴う農業者の減少に対応する農地の集積促進等と併せて、土地改良施設の効率的な管理と農地・水といった生産基盤の確実な保全が重要となります。

また、食料安全保障の強化に向け、食料自給率の向上や農業生産性の確保のため、土地改良がどうあるべきかが問われます。生産基盤整備の一層効率的な推進、農地や水資源、水利施設等の保全を効率化する制度や手続きの見直しにより、現在以上の生産性を実現する新たなシステムが必要となります。そのための手段の一つとして、水管理や農作業へのICTやAIの活用、スマート農業の導入促進が考えられ、これらに対応する圃場区画や多様な農作物栽培を可能とする排水改良や畑地かんがい施設の整備などが求められてきます。さらに、これらの高度な生産システムのもとでは、女性の活躍の場が広がり、男女共同参画の一層の推進が必要になるものと考えています。

こうした新しい農村の未来に向け、良好な地域社会の維持・形成による、多面的機能の持続的な発揮への取り組みも強化する必要があり、さらに、近年多発する自然災害に対応する防災・減災・国土強靭化を継続的に進めていかなければならず、これらに必要な予算の安定的な確保、地域住民も含めた組織化と連携強化、法制度の充実に加えて、手続きの簡素化等にもしっかりと対処していく必要があると考えています。

このような、新たな食料・農業・農村基本法の目標に到達するためには、それぞれの地域特有の諸課題を解決していく必要があり、引き続き進藤議員と連携しながら、土地改良がこれまで果たしてきた成果や、これからの役割の重要性を広く発信するとともに、皆様のお声をお聞きしながら政策に反映してまいりますので、長野県土地改良事業団体連合会会員、役職員ならびに関係の皆様におかれては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

全国土地改良事業団体連合会 第65回全国土地改良功労者表彰

全国土地改良事業団体連合会は、本年度の表彰受賞者を発表し、長野県からは、団体表彰に2団体、個人表彰に3名が選ばれた。

【団体】

賞	団体名	代表者 (R6.3.26現在)
全土連会長表彰	松本市女鳥羽川土地改良区	西村 清利
全土連会長表彰	中野市西部土地改良区	金井 正文

【個人】

賞	氏名	摘要 (R6.3.26現在)
全土連会長表彰	清水 房雄	小諸市御牧原土地改良区 理事長
全土連会長表彰	宮川 剛	河東土地改良区 事務局長
全土連会長表彰	小林 竜一	長野県善光寺土地改良区 主任

長野県土地改良事業団体連合会 第63回事業功労者表彰 本会永年勤続職員表彰

本連合会は土地改良事業の推進に大きく貢献された功労者22名、本会永年勤続職員2名を表彰した。

1. 第63回事業功労者表彰

所属支部	氏名	団体名・役職名 (R6.3.27現在)	所属支部	氏名	団体名・役職名 (R6.3.27現在)
上小	藤巻 進	(前)軽井沢町長	下伊那	本島 竜也	(前)長野県竜西土地改良区 事務局長
	久保田 洋	(前)堀越堰水利組合 委員長		原 昭章	長野県小渋川土地改良区 理事長
	井出 一實	(前)上田市柵網土地改良区 理事		菅沼 義人	長野県小渋川土地改良区 副理事長
	斉藤 仁一	(前)上田市柵網土地改良区 総括監事	松本	百瀬 元幸	(前)東筑摩郡波田堰土地改良区 理事長
	小山 勇	(前)上田市柵網土地改良区 理事		竹内 啓司	長野県勘左衛門堰土地改良区 理事長
	柳澤 和彦	(前)上田市塩田平土地改良区 理事		矢萩 正彦	長野県勘左衛門堰土地改良区 総括監事
	甲田 富士雄	(前)上田市塩田平土地改良区 理事		山本 治	安曇野市矢原堰土地改良区 理事長
	神林 芳久	(前)中山間地域総合整備事業 殿城地区実行委員会委員長	北信	金崎 和昭	(前)長野県下水内中部土地改良区 理事長
上伊那 秋山 文男	上伊那郡河南土地改良区 理事長	高橋 雅彦		(前)長野県下水内中部土地改良区 理事	
藤本 富一	上伊那郡河南土地改良区 副理事長	服部 克士		(前)長野県下水内中部土地改良区 理事	
下伊那 萱間 成美	(前)長野県竜西土地改良区 理事長	吉越 菊雄		(前)飯山国営土地改良区 理事長	

2. 本会永年勤続職員

氏名	適 用
菅沼 洋平	北信事業所換地地籍係長
小林 寛知	中信事業所北安曇支所技術係長

長野県からのお知らせ

おいずみ

大泉田園景観保全会（上伊那郡南箕輪村）が多面的機能発揮促進事業 関東農政局長表彰の最優秀賞を受賞しました。

当地域は、中央アルプスの経ヶ岳を源とする大泉川の扇状地に位置しています。水系ごとの水利組合は、個々の独自性を活かして活動組織に参画し、先導的役割を果たしています。

大泉田園景観保全会は、自治会をはじめ農業関係団体、景観形成グループや学校等の教育関連組織など、24の団体で構成され、地域の維持保全活動に加え、田園環境の向上、農村文化の継承及びコミュニティの強化に取り組んでいます。

取組面積 205.4ha（田141.3ha、畑64.0ha）

受賞者の声

国、県、村から支援される多面的機能支払交付金の力と、大泉田園景観保全会を構成する24団体の皆さんの汗との合体の賜物であり、地域コミュニティーの形成に結び付く本受賞を『やったあー！』と地域住民とともに歓喜を共有できた大変ありがたい受賞です。今後も地域一体となって取り組んでいきたいと思っております。



地域資源保全活動

「みどりの風作戦」と名付けて、区域内の水路や農道、畦畔の法面の草刈りに取り組んでいます。草刈り作業の省力化や田園景観の向上を図るため、法面への芝等のカバープランツの植栽試験を実施しています。



草刈り作業

農村環境保全活動

「レンゲプロジェクト」と名付けて、冬季の砂塵飛散防止や花園としてレンゲの植栽を実施しています。高校生が育てた花苗など、水路や雑草が生い茂った道路敷を整備し、植栽を実施しています。



花狩りをする保育園児

地域住民との交流活動

地域の伝統行事である「まんどふり」を実施し、遊休農地で「まんど」の材料となる大麦の種まき・麦踏み・刈取りと、麦わらを編みあげる活動を実践しています。



大麦の刈取り

施設の維持管理活動

点検・機能診断を実施し、計画的に水路や農道の補修を行っています。

災害時の見回りを実施するとともに、復旧作業や飲料水・防火用水の確保に努めています。



復旧作業

◎人事異動(農林水産省)

農林水産省農村振興局 (4月1日付)

農村政策部	部長(大臣官房広報評価課長)	神田 宜宏
農村計画課	農村活性化推進室長(大臣官房予算課課長補佐)	朝日 健介
地域振興課	中山間地域・日本型直接支払室長 (農村振興局総務課調査官兼農村振興局整備部水資源課付)	藤田 覚
都市農村交流課	農泊推進室長 (農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課課長補佐 兼農村振興局農村政策部都市農村交流課付)	東 崇史
農村環境対策室長	農村環境対策室長 (厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課主任中央産業安全専門官)	佐藤 誠
整備部		
設計課	計画調整室長(中国四国農政局農村振興部設計課長)	中西 滋樹
	施工企画調整室長(農村振興局整備部設計課技術調査官)	鈴木 光明
水資源課	農業用水対策室長(長崎県農林部参事監)	鈴木 豊志
農地資源課	多面的機能支払推進室長 (農村振興局整備部防災課海岸・防災事業調整官)	村瀬 勝洋
防災課	防災・減災対策室長 (農村振興局総務課福島復興旧復興対策調整官兼農村振興局 整備部地域整備課付)	志田麻由子

農林水産省農村振興局退職 (3月31日付)

農村振興局農村政策部長	佐藤 一絵
農村振興局農村政策部地域振興課中山間地域・日本型直接支払室長	野中 振拳

農林水産省関東農政局 (4月1日付)

農村振興部		
	国営事業情報分析官(九州農政局地方参事官〈佐賀県担当〉)	難波 和聡
	洪水調節機能強化対策官(関東農政局農村振興部水利整備課長)	佐藤 秀彦
農村計画課	課長(農村振興局農村政策部農村計画課課長補佐 〈土地利用計画班担当〉)	野中 泰史
土地改良管理課	課長(近畿農政局農村振興部土地改良管理課長)	加藤 輝雄
事業計画課	課長(農村振興局農村政策部地域振興課課長補佐 〈直接支払業務班担当〉)	高橋 紀之
農用地課	課長(関東農政局印旛沼二期農業水利事業所次長)	折笠 勝秋
水利整備課	課長(人事院人材局主任試験専門官〈首席試験専門官付〉)	寺田 憲治

農林水産省関東農政局退職 (3月31日付)

関東農政局農村振興部農村計画課長	柳澤 貴雄
------------------	-------

◎人事異動(長野県)

県 (4月1日付)

農政部

次長(福祉大学校長)

保科 千丈

農地整備課

課長(長野地域振興局農地整備課長)

柳澤 和道

主任専門指導員(中信会計センター工事検査幹)

和田 光由

企画幹兼課長補佐兼管理係長(農地整備課課長補佐兼管理係長)

神津千賀子

企画幹(防災担当)
(長野地域振興局農地整備課企画幹兼防災第一係長)

岡村 康司

課長補佐(防災担当)
(諏訪地域振興局農地整備課計画調査係担当係長)

青柳 賢治

課長補佐兼水利係長
(北信地域振興局農地整備課課長補佐兼計画調査係長)

宮嶋 裕樹

課付 自治法派遣(石川県穴水町)
(上伊那地域振興局農地整備課課長補佐兼水利係長)

安田 和雄

佐久地域振興局農地整備課

副参事兼課長補佐兼地域整備係長
(副参事兼北信会計センター主任工事検査員)

片桐 一也

課長補佐兼基盤整備係長
(佐久地域振興局農地整備課基盤整備係長)

久保田益寿

上田地域振興局農地整備課

課長補佐兼水利防災係長(農地整備課課長補佐(防災担当))

大野 哲也

諏訪地域振興局農地整備課

課長補佐兼管理係長(諏訪地域振興局農地整備課管理係長)

高井 恵

上伊那地域振興局農地整備課

課長兼水利係長(上伊那地域振興局農地整備課長)

高林 栄治

課長補佐兼基盤整備係長
(北信地域振興局農地整備課課長補佐兼基盤整備係長)

上原 浩一

南信州地域振興局農地整備課

副参事課長補佐兼水利防災係長
(副参事兼上伊那地域振興局農地整備課課長補佐兼基盤整備係長)

福岡 誠志

企画幹兼課長補佐(南信州地域振興局農地整備課企画幹)

高谷 裕継

木曾地域振興局農地整備課

課長(松本地域振興局農地整備課企画幹兼計画調査係長)

古畑 優

松本地域振興局農地整備課

課長(農地整備課企画幹(防災担当))

小松 俊一

企画幹兼計画調査係長(農地整備課課長補佐兼水利係長)

安永 浩和

課長補佐兼基盤整備係長(木曾地域振興局農地整備課長)

林 俊史

課長補佐兼水利係長
(北信地域振興局農地整備課課長補佐兼水利防災係長)

横山 篤

長野地域振興局農地整備課

課長(松本地域振興局農地整備課長)

松川 敦

企画幹兼防災第一係長
(上田地域振興局農地整備課課長補佐兼水利防災係長)

塩川 一則

課長補佐兼水利係長(佐久地域振興局農地整備課地域整備係長)

原田 佳幸

課長補佐兼管理係長
(上田農業農村支援センター農業農村振興課農政係長)

石井 順也

北信地域振興局農地整備課

課長補佐兼基盤整備係長
(南信州地域振興局農地整備課水利防災係長)

野口 武彦

課長補佐兼計画調査係長
(松本地域振興局農地整備課課長補佐兼水利係長)

二木 秀幸

◎人事異動(長野県土地改良事業団体連合会)

長野県土地改良事業団体連合会 (3月31日付)

本部事務局 総務企画課長(本部事務局総務企画課長東信事業所事務取扱)

竹内 正啓

長野県土地改良事業団体連合会 (4月1日付)

本部事務局 参事(新規採用)

平林 孝保

本部事務局付(東信事業所長)

小山 敏生

総務企画課

副参事兼総務企画課課長補佐兼総務係長兼経理係長兼企画係長
(総務企画課課長補佐兼経理係長兼企画係長)

瀧澤 龍

経理係推進員(新規採用)

宮川 剛

事業課

課長(事業課長兼水土里情報センター所長)

桑原 政明

副参事兼事業課課長補佐兼水土里情報センター所長兼技術係長兼
管理指導係長(事業課課長補佐兼技術係長兼管理指導係長)

吉沢 隆

管理指導係長兼技術係長(北信事業所技術係長)

赤尾 昌昭

技術係技師兼水土里情報センター技師(事業課技術係技師)

廣瀬 竜司

技術係試備職員技師(新規採用)

金井 利樹

技術係試備職員技師(新規採用)

中川 空

東信事業所

所長(南信事業所諏訪支所長)

和田 勝文

東信事業所佐久支所

技術係長(東信事業所佐久支所技術係主任)

小森 浩正

技術係技師(中信事業所技術係技師)

有賀 康博

南信事業所

所長(中信事業所木曾支所長)

小林 功二

推進員(再任用)

三石 稔

南信事業所諏訪支所

所長(中信事業所北安曇支所副参事兼所長補佐)

高野 禎夫

南信事業所下伊那支所

推進員(再任用)

小金澤 勉

中信事業所

技術係長(北信事業所技術係主任)

轟 太吾

中信事業所木曾支所

所長(東信事業所佐久支所所長補佐兼技術係長)

市川 雄一

北信事業所

所長(北信事業所北信支所長)

小林 幹直

北信事業所技術係長(北信事業所換地地籍係長)

菅沼 洋平

推進員(東信事業所推進員)

早水 登

北信支所

所長(中信事業所所長補佐兼技術係長)

小島 英之

推進員(再任用)

小池 章夫

退職 (3月28日付)

本部事務局事業課付技師

最上 風馬

退職 (3月31日付)

北信事業所長

小池 章夫

南信事業所長

三石 稔

本部事務局事業課対策幹(リニア整備関連事業担当下伊那支所駐在)

小金澤 勉

北信事業所所長補佐兼技術係長

小滝 卓也

東信事業所佐久支所技術係技師

西澤 賢太

南信事業所指導幹

有賀 賢治

新任のごあいさつ

(4月1日付)



南信事業所諏訪支所長 高野 禎夫

令和6年4月より諏訪支所長を拝命しました高野です。微力ですが、会員の皆様の負託に応えるよう職務に尽力させていただきます。

諏訪支部は、6市町村5改良区1農協の12会員で運営しており、八ヶ岳山麓の標高約1,200m地帯では野菜・花卉栽培、諏訪湖周辺の760m地帯では水稻を中心に一部で果菜類等の施設園芸が行われるなど、豊かな自然環境を利用した営農活動を展開しています。また、南海トラフ地震防災対策推進地域にも指定されていることから、地震や豪雨に強い農村づくりを進めていくことが求められています。

私どもは、地域の課題に対し、今までの経験や新たな知識、技術を活用して設計等に取り組んで参りますので、会員の皆様方には今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中信事業所木曾支所長 市川 雄一

令和6年4月より木曾支所長を任命されました市川です。木曾支所への勤務は令和4年以来4回目を通算11年目になります。

木曾地域は、面積の約93%が森林で、木曾川と御嶽山及び木曾駒ヶ岳など豊かな自然に囲まれた地域です。農業基盤整備状況は、木曾川沿いの平坦地や谷間に形成される農地で、中山間総合整備事業により整備が進められています。また、木曾町開田高原や木祖村西山地区の高冷地の畑地帯では、畑地帯総合整備事業等により基盤整備と共に農地集積が進められ整備率は県平均を上回っています。

近年、地球温暖化による豪雨災害が発生しており、ため池の耐震化や農業用施設の防災減災対策が重要な課題となっています。

木曾地域の農業農村の現状や課題など、地域住民や会員の皆様とコミュニケーションを図りながら、木曾地域の発展のために全力で取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



北信事業所北信支所長 小島 英之

令和6年4月より北信支所長に就任いたしました小島と申します。北信支所へは7年ぶり2回目となりますが、会員の皆様の負託にお応えすべく職務に力を注いでまいり所存でございます。

北信支所は2市1町3村8改良区の14会員として運営しております。県下でも有数の米どころでもあり、他にりんご・ぶどうなどの果樹栽培も盛んに営まれている農業地帯であります。近年は農業経営形態も変化してきており、土地改良事業への期待がより一層大きくなってきております。この自然豊かな農村地域の特色を生かしながら、営農が将来にわたり継続出来るよう微力ながら取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新規採用職員の紹介

(4月1日付)

よろしくお願いいたします



本部事務局事業課技術係試庸職員技師 金井 利樹

この度、本部事務局事業課に配属されました金井利樹です。中途採用の身でありながら、今回、連合会の一員として迎えていただいたことを大変うれしく思います。

前職では飯田市の建設会社で測量と現場監督を担当しておりました。職場や仕事内容が大きく変わることで不安な事も多いですが、経験を生かしつつ、常に学ぶ姿勢を忘れずに、少しでも早く皆様のお力になれるよう精一杯努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



本部事務局事業課技術係試庸職員技師 中川 空

この度、本部事務局事業課に配属されました中川空です。学生の身から社会人になり、責任と不安を感じますが、力を尽くしたいと考えております。社会人としての経験、農業土木技術・農業土木知識もまだまだ未熟ですが精一杯業務を行います。環境の大きな変化と、知識不足によりご迷惑おかけすることと思いますが先輩方に質問をしたり、アドバイスをもらい努力をしていきますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



表紙写真紹介 — 六道の堤 (伊那市)

1848年、高遠藩主、内藤頼寧ないとうよりやすは六道原の開墾を行いました。藤沢川から取水し、鉾持棧道脇をトンネルで抜け、芦沢に出て笠原を通り、六道原に至る約10kmの新しい水路を造りました。この池は桜の名所として地域の憩いの場となっており、また、堤には、漂泊の歌人といわれた井上井月の辞世句「どこやらたずの声聞く霞かな」の句碑があります。 (「まほらいな いいとこ 百選」認定)

文：信州の農業遺産魅力ガイドより (長野県農政部農地整備課発行)



みどり
水土里ネットながの
土地改良のしるべ

発行：令和6年5月（年4回発行）
発行所：長野県土地改良事業団体連合会
〒380-0838 長野市大字南長野字宮東452番地の1
TEL026-233-4281 <http://www.nag-doren.or.jp>
土地改良のしるべ編集人：白鳥 公晴